

平成 30 年度 はごろも小学校の取組

1 研究主題名

目的意識を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成
～聞く・話すことを中心とした体験的な活動内容の工夫を通して～

2 研究主題設定の理由

本市の小学校英語教育課程特例校事業の計画に基づき、本校でも、ALT・JTE が配置され、全学年で HRT との TT の授業が実践されている。

昨年度の児童アンケート（本校 5 年生）の結果を見ると、「①英語を話すことは楽しい 77%」「②英語を聞くことは楽しい 80%」「③英語で話しかけることがある 45%」「④英語を話せるようになりたい 91%」となっている。6 年生についても①77%②79%③39%④96%とほぼ同様の結果であった。

子ども達は英語を話せるようになりたいと思っている。話すのも聞くのも楽しい。しかし、英語で話しかける機会が少ないため、英語を学ぶ意欲の低下につながるものが推察される。

そこで、言語の習得だけでなく、歌やリズム等で英語に親しみ、相手を意識した体験的なコミュニケーション活動を工夫することにより、英語が通じる喜びや達成感を味わうことができ、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする児童が育つのではないかと考え、本研究主題を設定した。

3 研究の主な内容

(1) 目標（宜野湾市小学校英語活動の重点目標より）

- ・英語学習への関心・意欲を培う。
- ・コミュニケーション能力を高める。
- ・国際感覚や国際理解を深める。

(2) 指導方針、方法

- ①各学年の実態に応じ、宜野湾市の英語実践指導の手引に基づいて、授業計画を立てる。児童がこれまで習得した基本的な語彙力や表現力を活かしながら、HRT と ALT・JTE とのチームティーチングによる指導を行う。
- ②週に 1 回程度、HRT と ALT・JTE との英語ミーティングの時間を設け、事前に授業の流れを確認することで、連携して授業が行えるようにする。
- ③各学年の発達段階に応じて、低学年では、歌やリズム遊び、ゲーム、場面にふさわしい簡単な挨拶等体験的な活動を多く取り入れ、高学年では、静かに考えたり書いたりする活動も取り入れるようにする。
- ④行事や他教科と関連させ、身近な事柄を英語活動を通して学ぶことで、より実践的なコミュニケーション能力を養う。
- ⑤学習した英語を活用する機会をより多く設けることにより、英語を使ったコミュニケーション能力を高める。
- ⑥HRT も共に英語を学び、楽しむ姿勢を見せる事、「児童の良さを見つけ、ほめる」を常に心掛ける事で、安心して英語を話せるような雰囲気づくりに努める。

4 各学年の取り組み

(1) 授業の流れ

全学年、授業の始めと終わりは、HRT 主導で行った。デモンストレーションから、児童にめあてを考えさせ、振り返りでめあてが達成できたか確認した。

Lesson Plan 38

Grade 5

1. Topic: What do you have on Monday? 1/7
2. Goals of this class: Review the days of the week and learn about school subjects.
曜日を確認し、学校の科目について学ぶ
3. Target Language: “Monday, Tuesday…”, “Japanese, English, Math…”, “Do you like/have?”

過程	学習活動と内容 Activity	教師の支援		備考 Remarks
		ALT/JTE	HRT	
展 開	1. Greetings CL: “Sit up straight” … Daily Rules	Support class leaders.	Support class leaders.	3 minutes
	2. Warm-up Let’ s Watch and Think 1	Play video.	Support students.	WC1 Pg 19 5 minutes
	3. Goal	Support students.	Write on board in Japanese.	2 minutes
	4. Let’ s Sing “Sunday, Monday…”	Sing Tell 1 student a day.	Sing Tell 1 student a day.	WC1 Pg 20 2 minutes
	5. Telephone Activity 3 teams. Then maybe whole class.	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> HRT: Do you like Mondays? ALT: Hmm. No, I don’t. HRT: Do you like Tuesdays? ALT: Hmmm. No, I don’t. HRT: Do you like Wednesdays? ALT: Hmmm. Yes, I do. I have </div>		5 minutes
	6. Teacher conversation Then student conversations.	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> HRT: Do you like Mondays? ALT: Hmm. No, I don’t. HRT: Do you like Tuesdays? ALT: Hmmm. No, I don’t. HRT: Do you like Wednesdays? ALT: Hmmm. Yes, I do. I have </div>		3 minutes
	7. Introduce Subjects Students gesture or say English Hints.	Guess the word.	Guess the word.	5 minutes
	8. Teacher conversation Then student conversations.	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ALT: Do you have English class on Sunday? HRT: No, I don’t. ALT: Do you have English class on Wednesday? </div>		5 minutes
	9. Phonics	Say words to students. Give homework.	Support students. Give homework.	LSP1 Pg 3 5 minutes
	10. Homework			2 minutes
	ま と め	11. Write comments	Support students.	Check comments.
12. CL: Sit up Straight! Let’ s finish English class.		Let’ s finish English class. Thank you…	Support students.	3 minute

新学習指導要領の先行実施に伴い、5つの領域の言語活動を通して、下記のような児童の育成を目指し、学習に取り組んだ。

今年度から、3, 4年生にも、テキスト「Let's Try」を活用しての学習が取り入れられ、5, 6年生は、机やいすのある教室で、読むことや書くことの活動に取り組むことになった。

聞くこと・話すことの体験的な活動を大切にしながら、高学年は、中学校英語への橋渡しを意識した学習活動を行った。

	聞くこと	話すこと(やり取り・発表)	読むこと	書くこと
低学年	身近な外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ児童。			
中学年	外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ児童。(外国語学習への動機づけを高める)			
高学年	短い話の概要を捉えることができる。	言語活動を通して児童が簡単な語彙や基本的な表現を使って自分の気持ちや考えを表現できる。	簡単な語彙や基本的な英語表現の読み方を活字体の文字と結びつけて発音したり、4線上に書いたりすることに慣れ親しむ。	

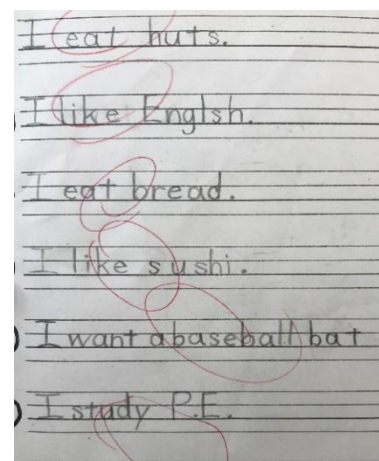
(2) 授業の様子(※写真削除)

6年の取り組み

- 授業の始めに、「知っている単語が聞こえるかな？」のListeningクイズを出して、聞くことを意識させた。回を重ねるごとに、聞き取れる単語が増えていった。
- 「He is famous. she is great.」では、want, eat, like, study, で答えられる内容を、絵カードを用いて文作りをした。また、単語と単語の間にスペース、文末にピリオドを打ち、語順を意識して文を書き写すことができた。
- 「I like my town」では、地域の建物の英語での言い方を宿題で探してもらい、全体で発表した。児童の振り返りでは、「沖縄にはいろいろな建物があるんだ」と、地域に目を向けることができた。

【振り返りシート】

日付	12/18	Today's Goal: せつやたもの名前を知らう!
今日の授業でできたこと、 わかったこと、気づいたこと	今日の授業で、せつやたもの自分が、昨日行ったところを、みんなと話をした。ノートも、覚えて、英語で、会話をすることも楽しかった!	
今日の授業で難しかったこと、 疑問に思ったこと、次挑戦してみたいこと	次は、すらすらと、英語で、会話をしたいと思ふ。 沖縄には、いろいろなたつものせ、せつやたもの、 たなあーと思ふ!	
自己採点 (100点満点)	99点	
先生からのコメント	Wonderful Review!! /100	



5 成果と課題・対応策

(1) 成果

- ・毎週ミーティングをやっている、スムーズに授業を進めることができている。
- ・ICT機器を活用し、授業が分かりやすく楽しい。関連する動画や図などが、必ず提示されるので、理解しやすい。
- ・毎時間、歌やチャンツに合わせて、日付、曜日、天気等の英会話を取り入れたり、単語練習をしたりしてリズムよく楽しくできている。テンポよく授業が進むので、児童は意欲的・積極的である。
- ・JTEもALTも、ほとんど英語で話していたので、子ども達のリスニングの力がついてきた。

- ・ゲームやクイズなど、工夫されていて、興味を持って楽しくできた。
- ・リスニングクイズなどで聞こえる単語を一生懸命聞き取ろうとしていた。
- ・フォニックスの練習を続けてきたので、発音を意識するようになった。

(2) 課題・対応策

- ・テキストでの学習が初めてで、テキストの内容を進めるために、多くの時間がかかりすぎた。
クリスマスなどの行事前にはクリスマスについて知るとか、カードを書くとか、外国の文化に触れる取り組みも、もっとしたかった。
→次年度は、外国の文化に触れる取り組みの時期を考えて、計画を立てるようにする。
- ・「We can!」(テキスト) がかなり高度で、流れてくる音声(質問) の理解が難しかった。
→ALT・JTE・HRT が、ゆっくり繰り返し説明し、児童の理解度を確認しながら進める。
- ・理解力に差がある。基本的な会話文や単語などまだまだ覚えていないことで、自信をもって発表できない子がいる。
→ゲームの前に、スモールステップで覚えられるように練習したり、普段から朝の会等で、日付や曜日、天気等の簡単な質問等に答えるような場を工夫したりする。
- ・全体では言える子でも、インタビューゲーム等では言えない子が、意外と多い。
→気づいたときに個別指導する。子ども同士のデモンストレーションもあるといい。